

会員・連携会員アンケート実施について（案）

2021-07-20

【趣旨】

各分野の日本の科学者を代表する会員ならびに連携会員の研究力の動向に関する認識と意見を集約し、今後の解析・調査の参考とする。学術フォーラムと連携させることにより多様な意見があることを周知した上で、科学者としての実感を調査することを目的とする。また、一般向けのアンケート調査実施のための参考データとする。

【実施計画】

- 集計結果を素早く公開して次のアンケート調査に繋げる。
- 質問内容はそれ以前の調査結果により決定する。
- アンケート調査は必要に応じて複数回実施し、順次深掘りする。

【対象】 日本学術会議会員及び連携会員

【時期（案）】 周知：令和3年9月会員・連携会員向けのニュース

実施（入力）：令和3年10月4日（月）（学術フォーラム終了後）～11月1日（月）（4週間または2週間）

【調査方法】 Google Form などのインターネットアンケートシステムを利用

【実施体制】 チームリーダーを中心に WG をつくり質問を作成・解析

【調査内容（案）】 シンプルかつ的確な質問（10分程度で入力終了）

(1) 入力者同定

- ① 入力者同定用 ID（氏名）および確認方法
- ② （属性：既に学術会議が入手済なので省略可・ただし同定作業が必要）

(2) 研究力の低下を感じるか？

- ① Y/N（または5段階？）
- ② なぜそう感じるか？
- ③ いつ頃から？

(3) 研究力低下を招いた原因は何か？

- ① 選択肢＋そう考える理由
- ② 自由記述理由＋そう考える理由（最大5セット程度）

(4) どのような政策が必要か（何を止めるべきか）？

- ① 選択肢＋そう考える理由
- ② 自由記述理由＋そう考える理由（最大5セット程度）

(5) その他：自由記述意見（アンケート調査自体に関するものも含む）

【解析】

- (1) 一般的なクロス解析等の結果
- (2) 定量文章解析＋感情分析

【公開】

解析終了後、委員会の承諾を得て速やかに公開する（公開方法：事務局と相談）